

## 教育研究業績書記入について

下記事項及び例を留意の上、ご記入ください。

なお、全般を通し、**主要な業績について記載し、「概要」は200字程度に抑えて、簡潔にご記入ください。**

### 1 教育上の能力に関する事項

#### I 教育方法の実践例

- ・マルチメディア機器を活用した授業方法
- ・学生の授業外における学習促進のための取り組み
- ・講義内容の Web 上での公開 等

#### II 作成した教科書、教材

作成した教科書、教材、講義で使用している著書、教材等の概要（後の「著書、学術論文」との重複も可。その場合「(再掲)」と表示すること。

#### III その他

- ・大学教育改善に関する団体等での活動の概要
- ・教育実績に対する受賞歴等

### 2 職務上の実績に関する事項

#### I 資格、免許

- ・専攻、研究分野等に関連した資格等について記入すること。

#### II 特許等

- ・取得していれば記入すること。

#### III その他

- 企業、公官庁等の研究者の場合
  - ・開発した新製品・製法、作物等の新品種等の概要
  - ・取得した特許などの概要
  - ・大学との共同研究による研究実績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割
- その他、企業・団体等関係者の場合
  - ・国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績
- 情報技術者関係の場合
  - ・コンピュータに係る職務歴（職務上のコンピュータ活用法、ソフト・システム開発歴）
- マスコミ関係者の場合
  - ・執筆した記事の概要
  - ・作成した番組の概要
- 医師や看護婦等医療技術者の場合
  - ・症例研究会での発表等の活動
- 福祉その他社会的活動の関係者の場合
  - ・参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位
- スポーツ等の実技関係者の場合
  - ・指導者としての経歴・実績・資格
- 芸術関係者の場合
  - ・作品の概要
- 博物館、美術館等関係者の場合
  - ・担当した展覧会の概要
  - ・執筆・監修した展覧会図録の概要
- その他全般を通じて
  - ・大学から受け入れた実習生に対する指導歴（看護・福祉実習、企業実習等）
  - ・企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等の概要

### 3 著書、学術論文等の名称

担当授業科目等に関する主要な著書、学術論文等（発行または、発表が予定されている者を含む）について記入してください。

- ・年月日順（過去→現在）に番号を付して記入すること。
- ・概要には、概要、ページ数について、明確かつ簡潔に記入すること。
- ・共著の場合は、本人の担当部分の概要とページ数（P.○～○）を明記し、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を記入すること。
- ・共著の場合で本人の担当部分を明確にできないときは、その理由を明記する。（例：共同研究につき本人担当部分抽出不可能）

#### I 著書

- ・1冊の本を数人で執筆した場合、当該部分は単著であっても共著として整理してください。

#### II 学術論文

- ・学位論文については、その旨明確になるよう記入すること。
- ・発表学会誌等は、その名称のほか、巻・号等まで明記すること。
- ・学会誌などにおいて発表予定のものについては、その旨を明記すること。なお、投稿予定のものは含めないでください。

#### III その他

- ・著書、学術論文以外のものを記入してください。